

事業名	受精卵供給促進事業費			調書番号	77
細事業名	受精卵供給促進事業費	財務コード	058701		
担当部課室	農政 部 畜産 課 生産振興 担当 (内線)	5263			

事業の概要		
実施期間	始期 S59 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に 県内酪農家及び肉用牛農家	その対象をどのような状態にして 優良な受精卵を入手することが出来る
	結果、何に結びつけるのか 農家経営の安定化	
内容	畜産酪農技術センターにおいて、受精卵移植技術を推進するための体制整備及び受精卵の生産と販売を行う。 山梨県受精卵移植推進協議会の開催 供卵牛(受精卵を生産する基礎となる牛)の選定、受精卵移植の普及定着に関する検討、県内酪農家と肉用牛農家の連携促進等を図る協議会の開催。 優良受精卵の生産・販売 畜産酪農技術センター長坂支所において、供卵牛より受精卵を生産し、種畜種きん売却規程に基づき販売を実施。 技術研修 採卵に従事する県内獣医師を対象に採卵技術の現地研修を実施。(H29に実施)	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)								
区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	採卵実施回数 (ホルスタイン種及び黒毛和種)	目標	58	58	58	58	58	90
		実績(見込)	61	77	71	75	78	80
		達成率	105.2	132.8	122.4	129.3	134.5	137.9
		達成区分	b	a	a	a	a	a
成果指標	受精卵販売個数 (ホルスタイン種及び黒毛和種)	目標	90	166	147	204	212	240
		実績(見込)	166	147	204	212	240	245
		達成率	184.4	88.6	138.8	103.9	113.2	102.1
		達成区分	a	b	a	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		6,752	8,006	8,337	8,251	8,369	10,149	8,696

事業の評価(平成28年度の業績評価)		
活動指標	a	例年大幅に目標数値を上回っている。 H28年度は、特に黒毛和種受精卵の販売数が伸び、H28年度は207個販売した。目標としている前年度実績を上回り、成果を充分に上げている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)	
判断 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い	説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明 甲州牛生産基盤強化の推進へ取り組んでおり、受精卵を活用した黒毛和種の生産を増加させる方針である。
有効性(成果向上) 判断 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない	説明 黒毛和種受精卵に関しては、需要が高いため、増産を図る。
判断 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明
その他	説明
見直しの必要性 有	説明 外部評価アドバイザーより、農家が受精卵移植を行う際の経費負担軽減及び利用農家の拡大について取り組むよう助言を受けた。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)	
拡大	説明 採卵頭数を増加させることで、受精卵の増産を更に進める。 また、家畜保健衛生所や普及スタッフの巡回指導に合わせ、未利用農家への受精卵利用PRを実施し、更なる受精卵販売個数の増を図り、受精卵を活用した黒毛和種の生産を増加させる。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。